

実施設計図面

工事名

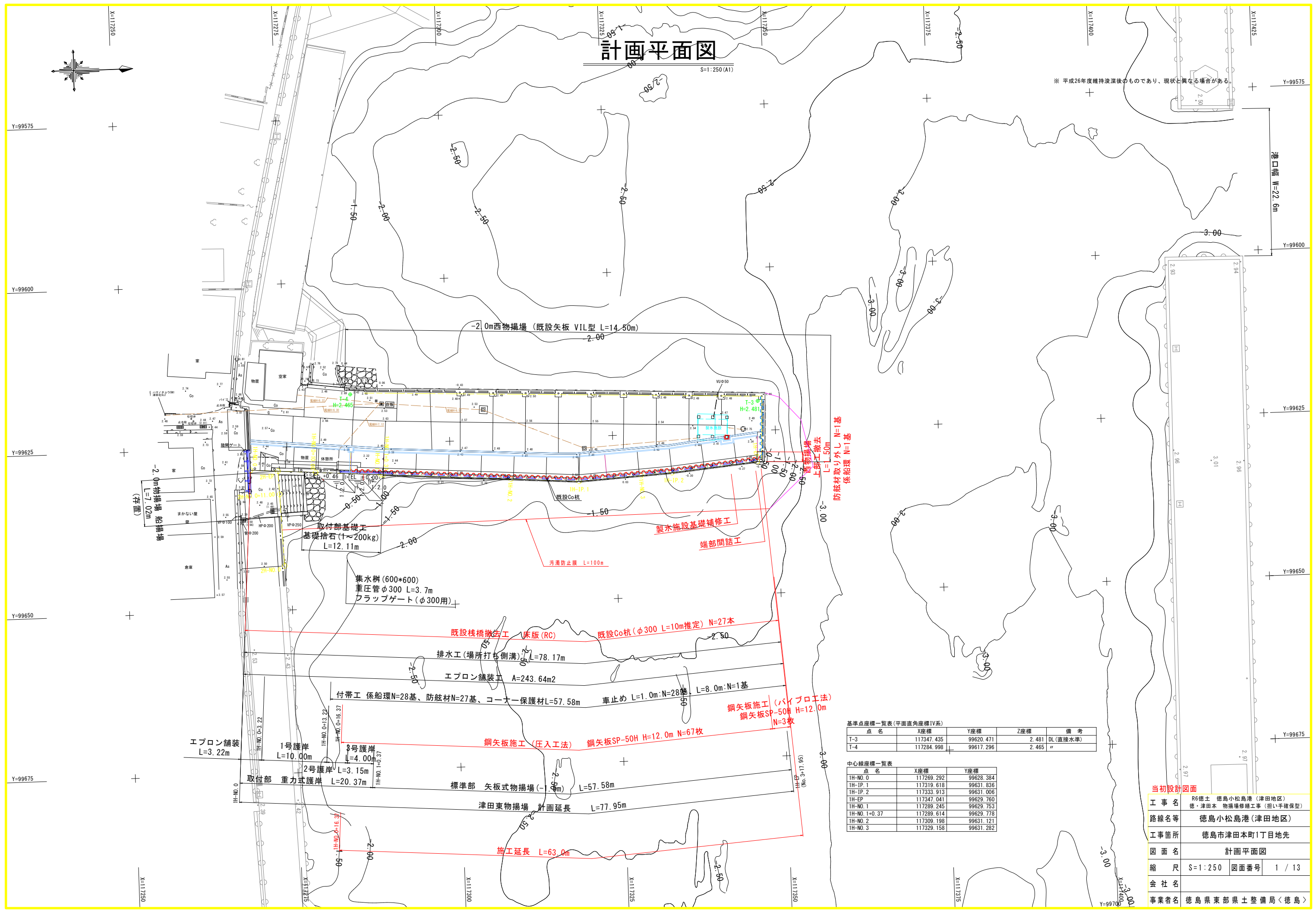
R6徳土 徳島小松島港(津田地区) 徳・津田本物揚場修繕工事
(担い手確保型)

東部県土整備局
<徳島>

計画平面図

S=1:250 (A1)

※平成26年度維持費後のものであり、現状と異なる場合がある。



基準点座標一覧表(平面直角座標IV系)

点名	X座標	Y座標	Z座標	備考
T-3	117347.435	99620.471	2.481	DL(直接水準)
T-4	117284.998	99617.296	2.465	"

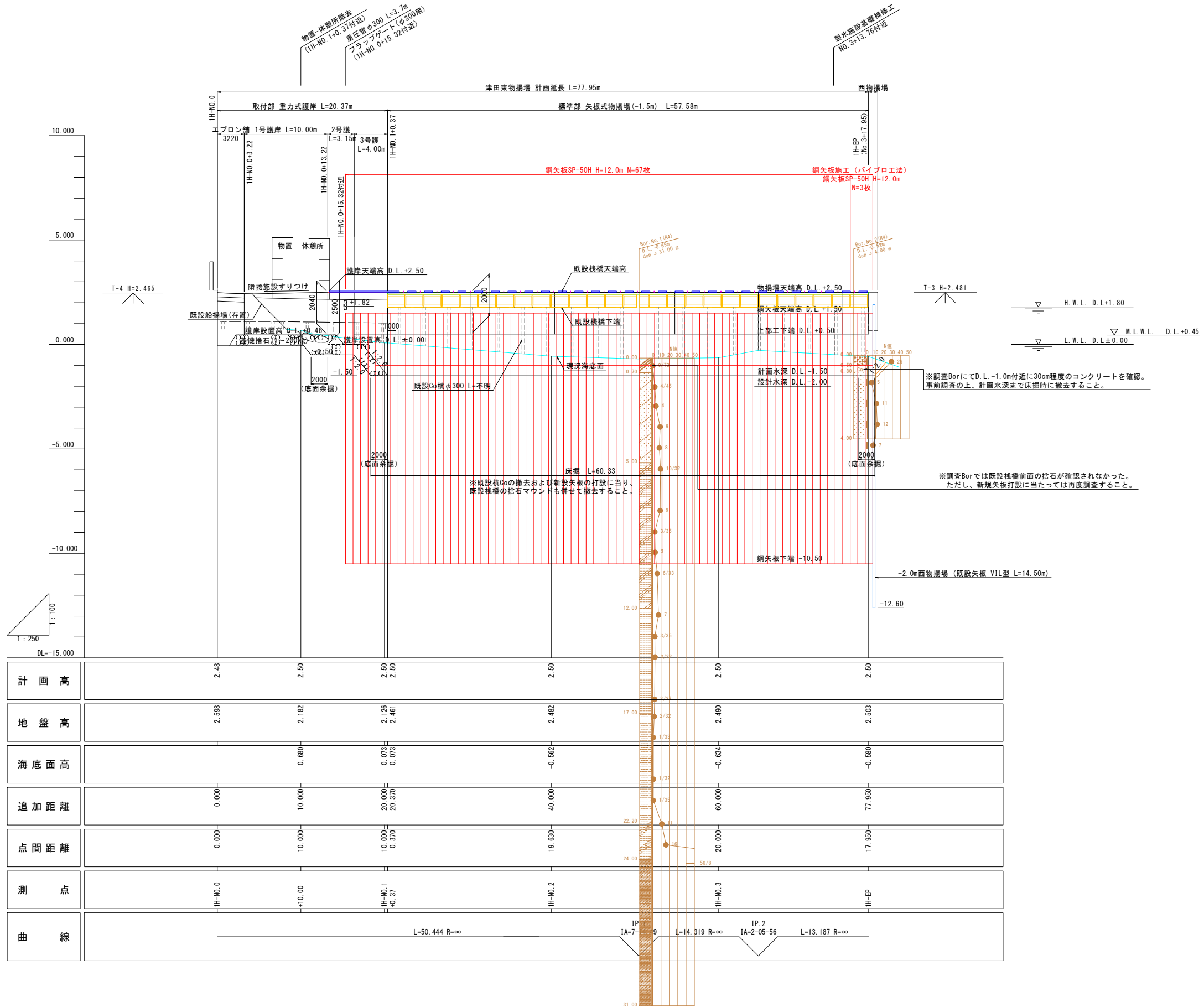
中心線座標一覧表

点名	X座標	Y座標
IH-NO.0	117269.292	99628.384
IH-IP.1	117319.618	99631.836
IH-IP.2	117333.913	99631.006
IH-EP	117347.041	99629.760
IH-NO.1	117289.245	99629.753
IH-NO.1+0.37	117289.614	99629.778
IH-NO.2	117309.198	99631.121
IH-NO.3	117329.158	99631.282

当初設計図面

工事名	R6徳士 徳島小松島港(津田地区)
路線名等	徳島小松島港(津田地区)
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先
図面名	計画平面図
縮尺	S=1:250 図面番号 1 / 13
会社名	
事業者名	徳島県東部果土整備局<徳島>

縦断図 V=1:100 H=1:250



計画高	2.48	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	
地盤高	2.598	2.182	2.126	2.461	2.482	17.00	2.503	
海底面高		0.680	0.073	0.073	-0.562	-0.634	-0.680	
追加距離	0.000	10.000	20.000	20.370	40.000	60.000	77.950	
点間距離	0.000	10.000	10.000	0.370	19.630	20.000	17.950	
測点	IH-NO.0	+10.00	IH-NO.1	+0.37	IH-NO.2	IH-NO.3	IH-EP	
曲線	L=50.444 R=∞							IP.2 IA=2-05-56 L=13.187 R=∞

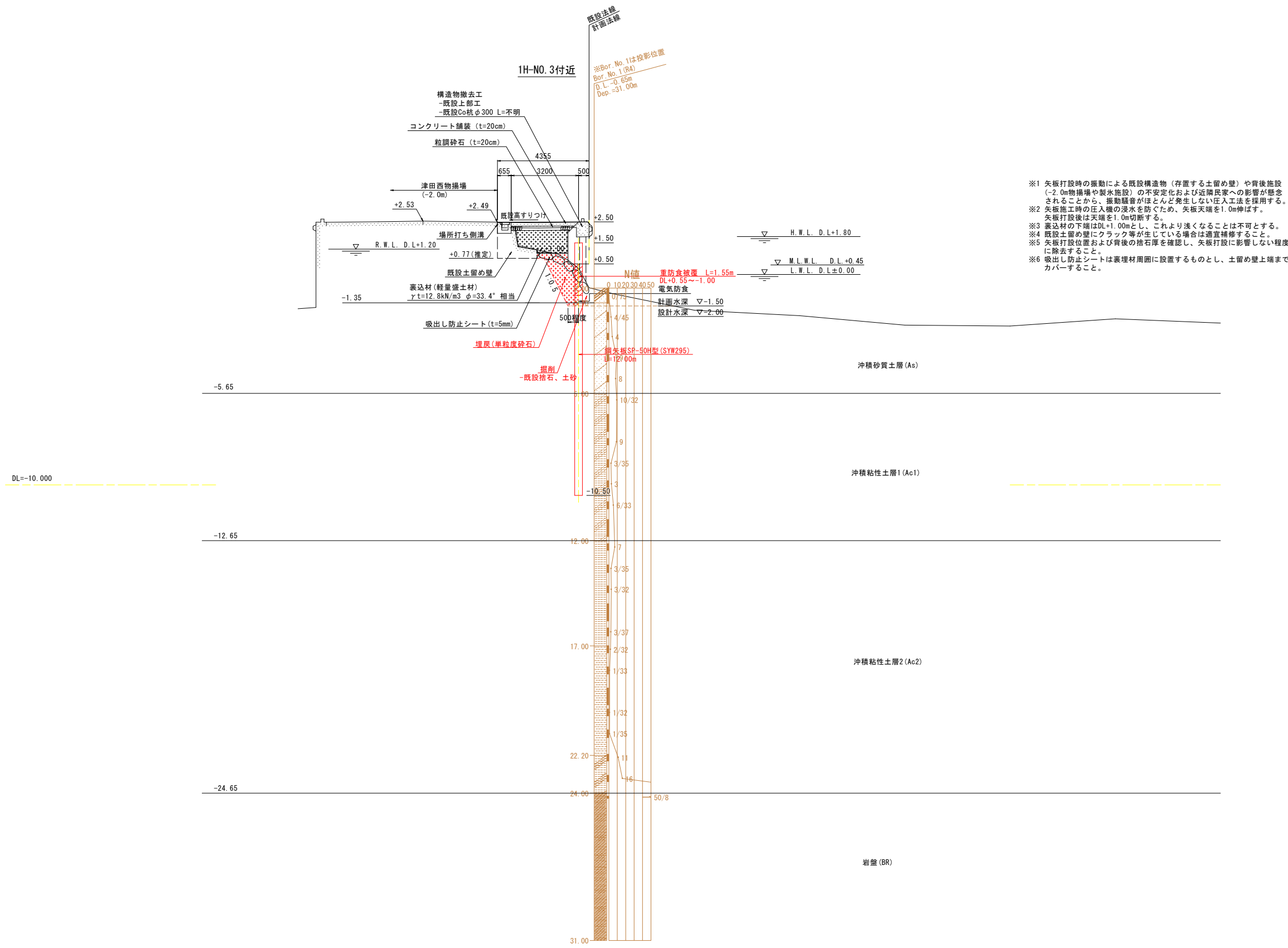
当初設計図面

工事名	R6徳土 徳島小松島港 (津田地区)
路線名等	徳・津田本 物揚場修繕工事 (担い手確保型)
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先
図面名	縦断図
縮尺	V=1:100 H=1:250
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

図面番号 2 / 13

標準断面図(1)

S=1:100

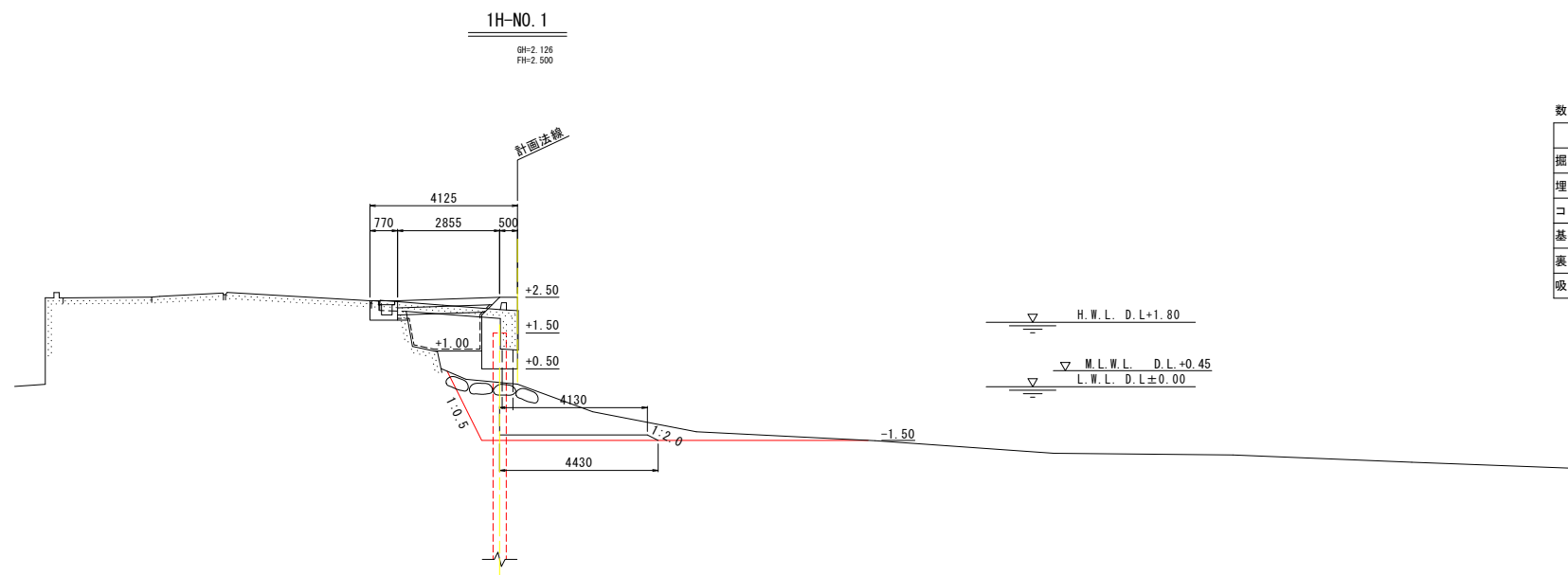


- ※1 矢板打設時の振動による既設構造物(存置する土留め壁)や背後施設(-2.0m物揚場や取水施設)の不安定化および近隣民家への影響が懸念されることから、振動騒音がほとんど発生しない圧入工法を採用する。
- ※2 矢板施工時の圧入機の浸水を防ぐため、矢板天端を1.0m伸ばす。矢板打設後は天端を1.0m切断する。
- ※3 裏込材の下端はDL+1.00mとし、これより浅くなることは不可とする。
- ※4 既設土留め壁にクラック等が生じている場合は適宜補修すること。
- ※5 矢板打設位置および背後の捨石厚を確認し、矢板打設に影響しない程度に除去すること。
- ※6 吸出し防止シートは裏込材周囲に設置するものとし、土留め壁上端までカバーすること。

当初設計図面

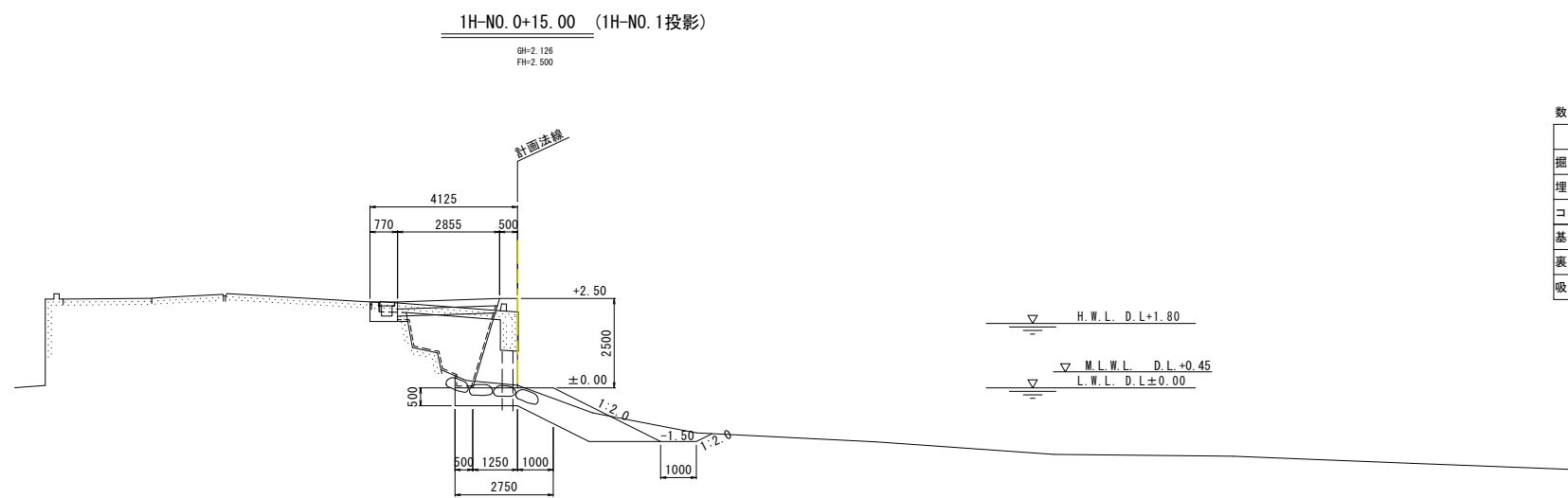
工事名	R6徳土 徳島小松島港(津田地区)
路線名等	徳島小松島港(津田地区)
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先
図面名	標準断面図
縮尺	S=1:100 図面番号 3 / 13
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

横断図(1) S=1:100



数量表 1H-NO. 1

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m ³	6.96
埋戻し 単粒度砕石	m ³	2.60
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設橋床版	m ³	1.41
基礎捨石 1~200kg	m ³	0.64
裏込材 軽量盛土材	m ³	2.07
吸出し防止シート t=5mm	m ²	4.39



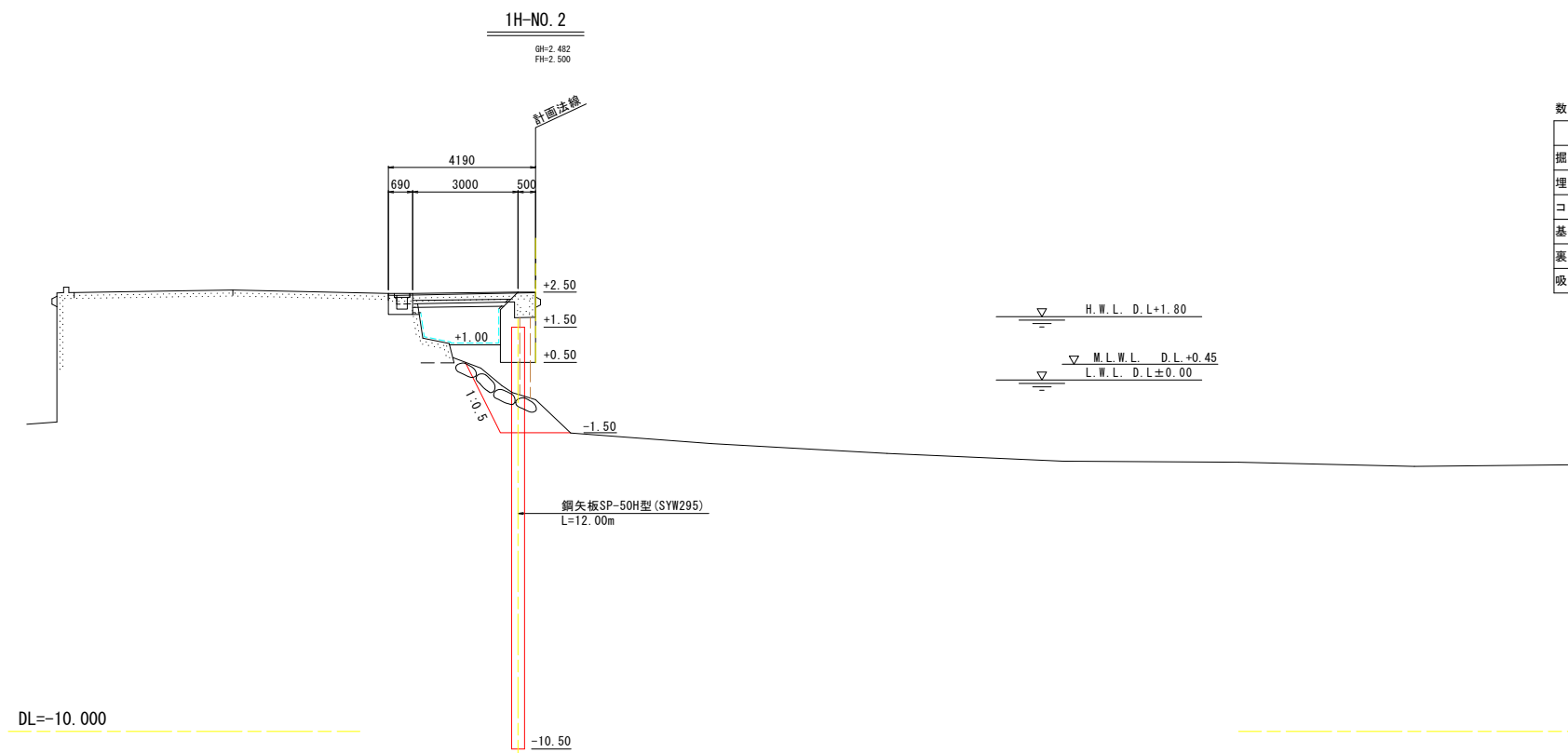
数量表 1H-NO. 0+15.00 (1H-NO. 1投影)

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m ³	4.21
埋戻し 単粒度砕石	m ³	---
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設橋床版	m ³	1.41
基礎捨石 1~200kg	m ³	3.63
裏込材 軽量盛土材	m ³	3.24
吸出し防止シート t=5mm	m ²	5.89

当初設計図面

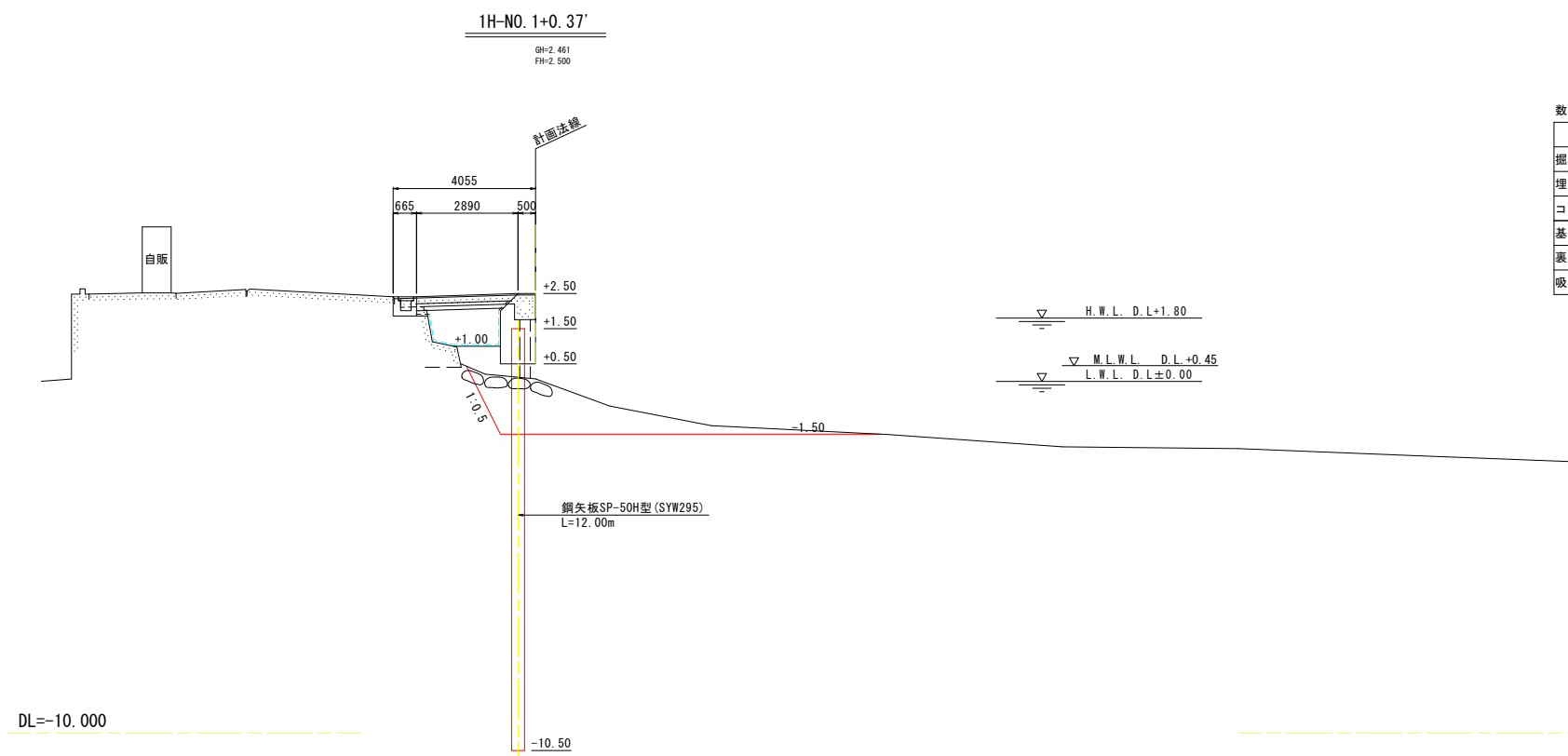
工事名	R6徳土 徳島小松島港 (津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島小松島港 (津田地区)
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先
図面名	横断図(1)
縮尺	S=1:100 図面番号 4 / 13
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

横断図(2) S=1:100



数量表 1H-NO. 2

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m3	2.32
埋戻し 単粒度砕石	m3	2.67
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設橋床版	m3	1.26
基礎捨石 1~200kg	m3	---
裏込材 軽量盛土材	m3	2.40
吸出し防止シート t=5mm	m2	4.55



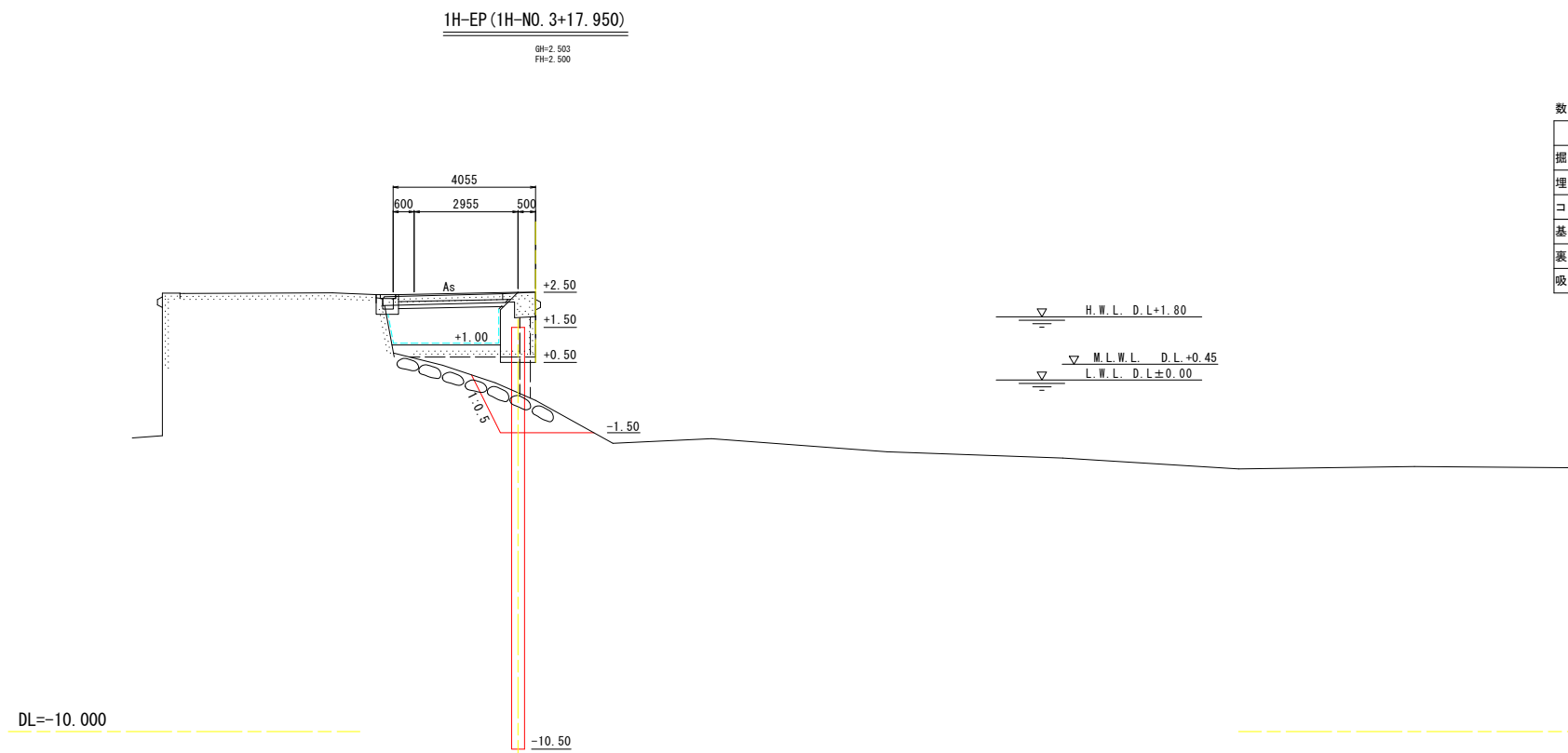
数量表 1H-NO. 1+0.37'

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m3	6.96
埋戻し 単粒度砕石	m3	2.60
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設橋床版	m3	1.23
基礎捨石 1~200kg	m3	---
裏込材 軽量盛土材	m3	2.13
吸出し防止シート t=5mm	m2	4.44

当初設計図面

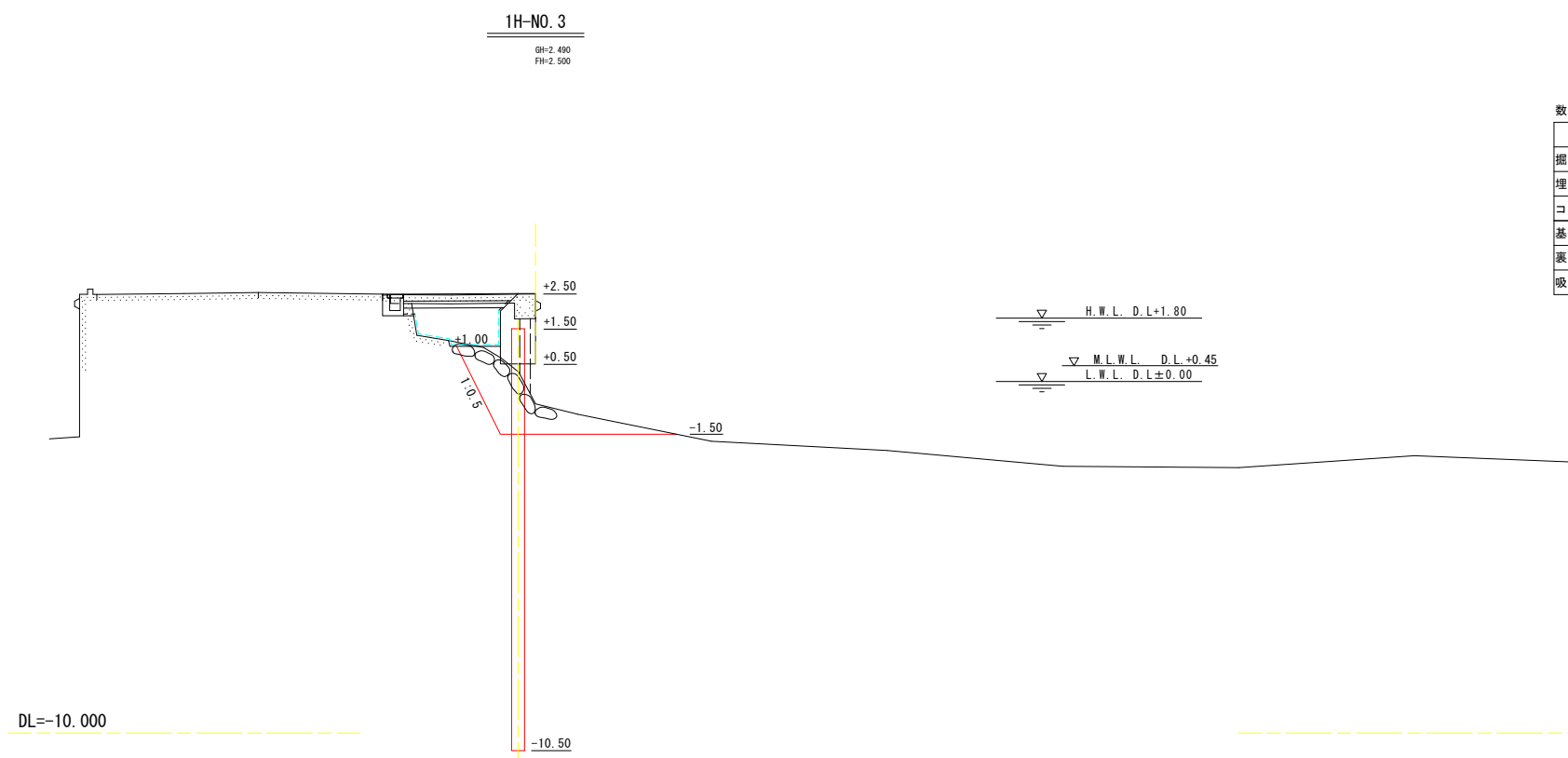
工事名	R6徳土 徳島小松島港 (津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島小松島港 (津田地区)
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先
図面名	横断図(2)
縮尺	S=1:100 図面番号 5 / 13
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

横断図(3) S=1:100



数量表 1H-EP (1H-NO. 3+17.950)

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m ³	2.46
埋戻し 単粒度砕石	m ³	3.54
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設橋床版	m ³	1.36
基礎捨石 1~200kg	m ³	---
裏込材 軽量盛土材	m ³	3.31
吸出し防止シート t=5mm	m ²	5.40



数量表 1H-NO. 3

名称-種別-細別	単位	数量
掘削 土砂-捨石	m ³	4.80
埋戻し 単粒度砕石	m ³	2.56
コンクリート取壊し 鉄筋構造物 既設橋床版	m ³	2.56
基礎捨石 1~200kg	m ³	---
裏込材 軽量盛土材	m ³	2.49
吸出し防止シート t=5mm	m ²	4.78

当初設計図面

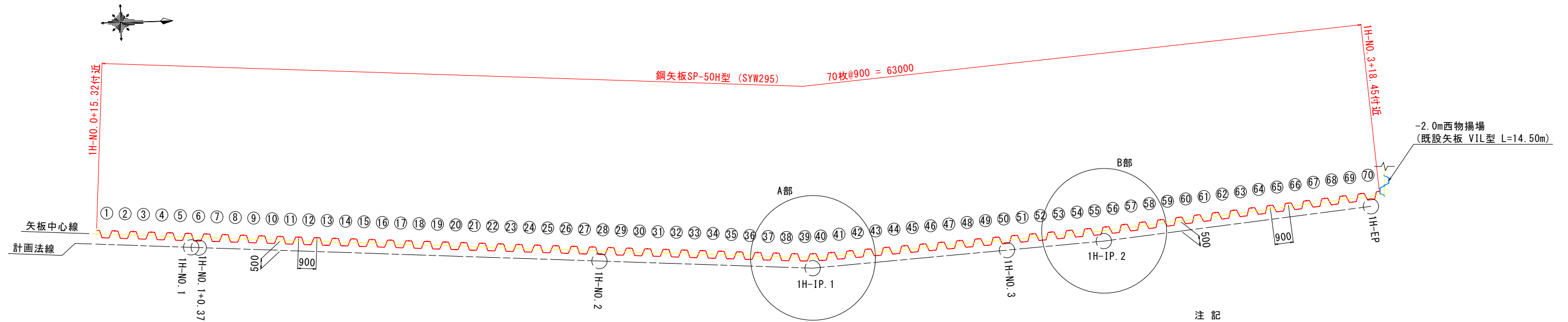
工事名	R6徳土 徳島小松島港 (津田地区)		
路線名等	徳島小松島港 (津田地区)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	横断図(3)		
縮尺	S=1:100	図面番号	6 / 13
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

鋼矢板配置図

S=1:100

平面図

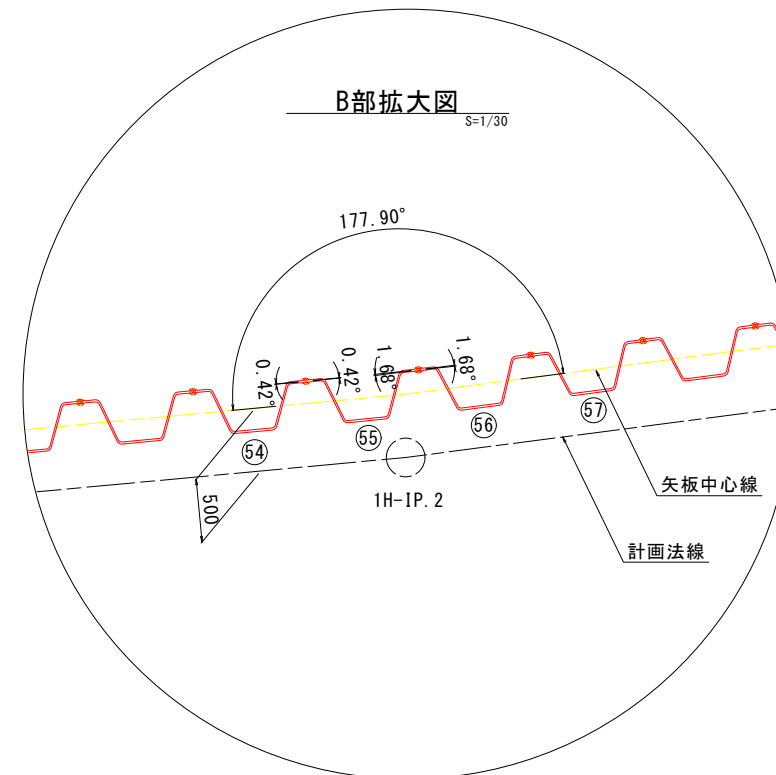
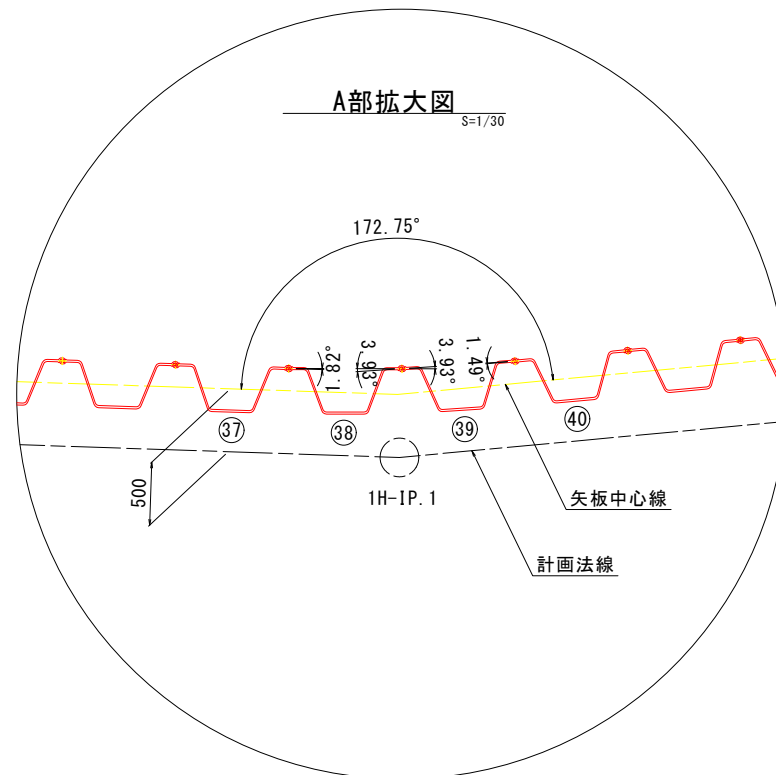
S=1/100



注記
-新設矢板の配置は、西物揚場既設矢板の凹凸や打設位置が計画と異なる場合、現状に合わせて再度見直すこと。

IP線形計算書

IP	IP間方向角	IA	R	TL	SL	CL	IP間距離	X座標	Y座標
1H-NO. 0	3-55-26.69						50.444	117269.2922	99628.3839
1H-IP. 1	356-40-37.23	7-14-49.46					14.319	117319.6180	99631.8360
1H-IP. 2	354-34-41.54	2-05-55.69					13.187	117333.9130	99631.0060
1H-EP								117347.0410	99629.7600

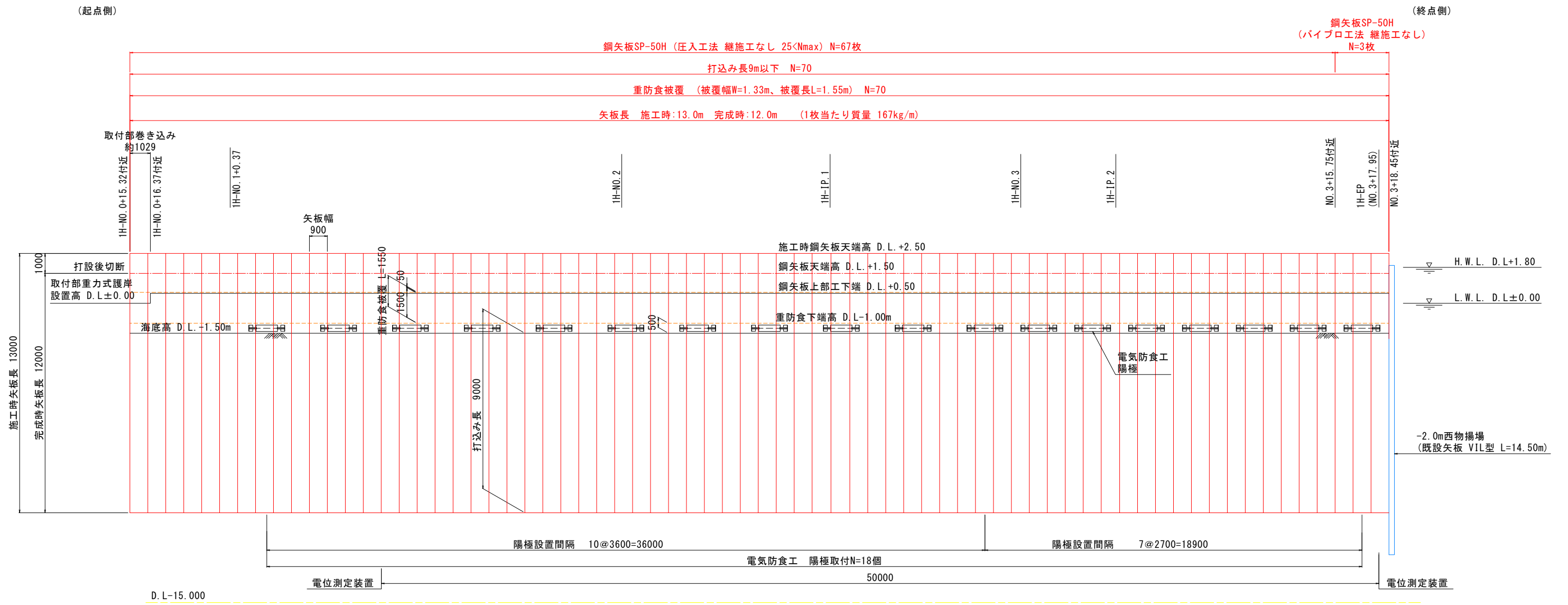


当初設計図面

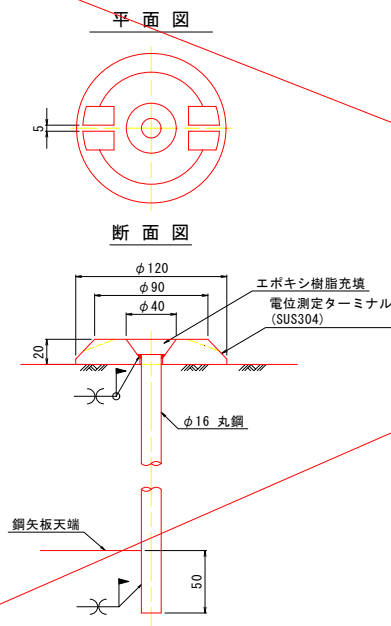
工事名	R6徳土 徳島小松島港 (津田地区)		
路線名等	徳・津田本 物揚場修繕工事 (担い手確保型)		
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先		
図面名	鋼矢板配置図		
縮尺	S=1:100	図面番号	7 / 13
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

鋼矢板展開図

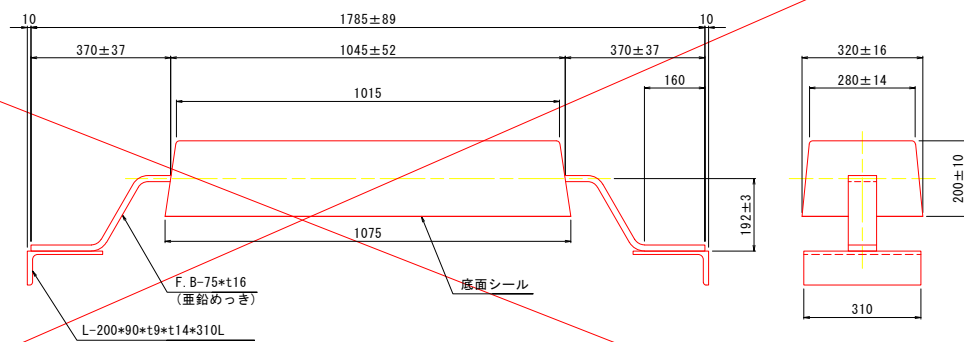
S=1:100



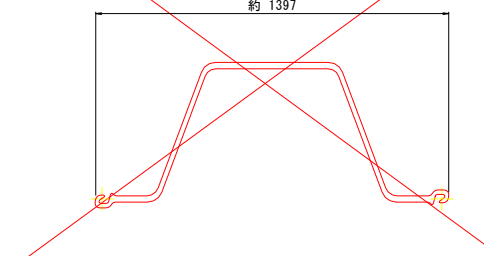
電位測定装置参考図 S=1:3



陽極取付要領図 S=1:10
横付け設置



鋼矢板切断長算定図 S=1:10



※ 矢板施工時の圧入機の浸水を防ぐため、矢板天端を1.0m伸ばす。矢板打設後は天端を1.0m切断する。
※ 初期圧入のための反力矢板3枚程度はパイプロ工法とする。
※ ハット型鋼矢板の重防食被覆は凸面に施す。
※ 重防食塗装の欠損部(鋼矢板天端断面、施工に伴う剥がれ、溶接部等)は現場にて防錆処理を行うこと。

当初設計図面	
工事名	R6徳土 徳島小松島港 (津田地区) 徳・津田本 物揚場修繕工事 (担い手確保型)
路線名等	徳島小松島港 (津田地区)
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先
図面名	鋼矢板展開図
縮尺	S=1:100 図面番号 8 / 13
会社名	
事業者名	徳島県東部果土整備局<徳島>

鋼矢板端部詳細図(終点側)

端部間詰工

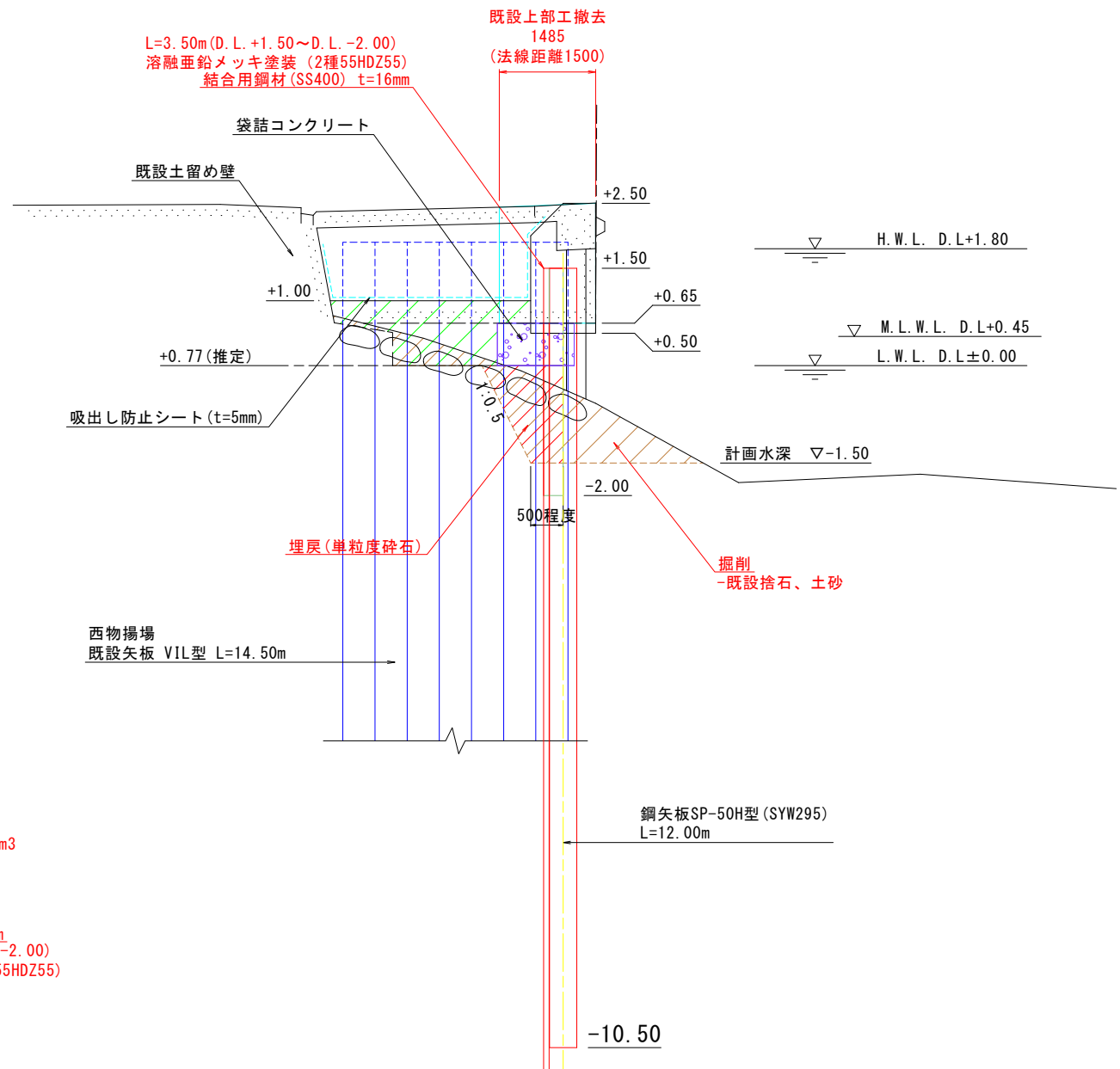
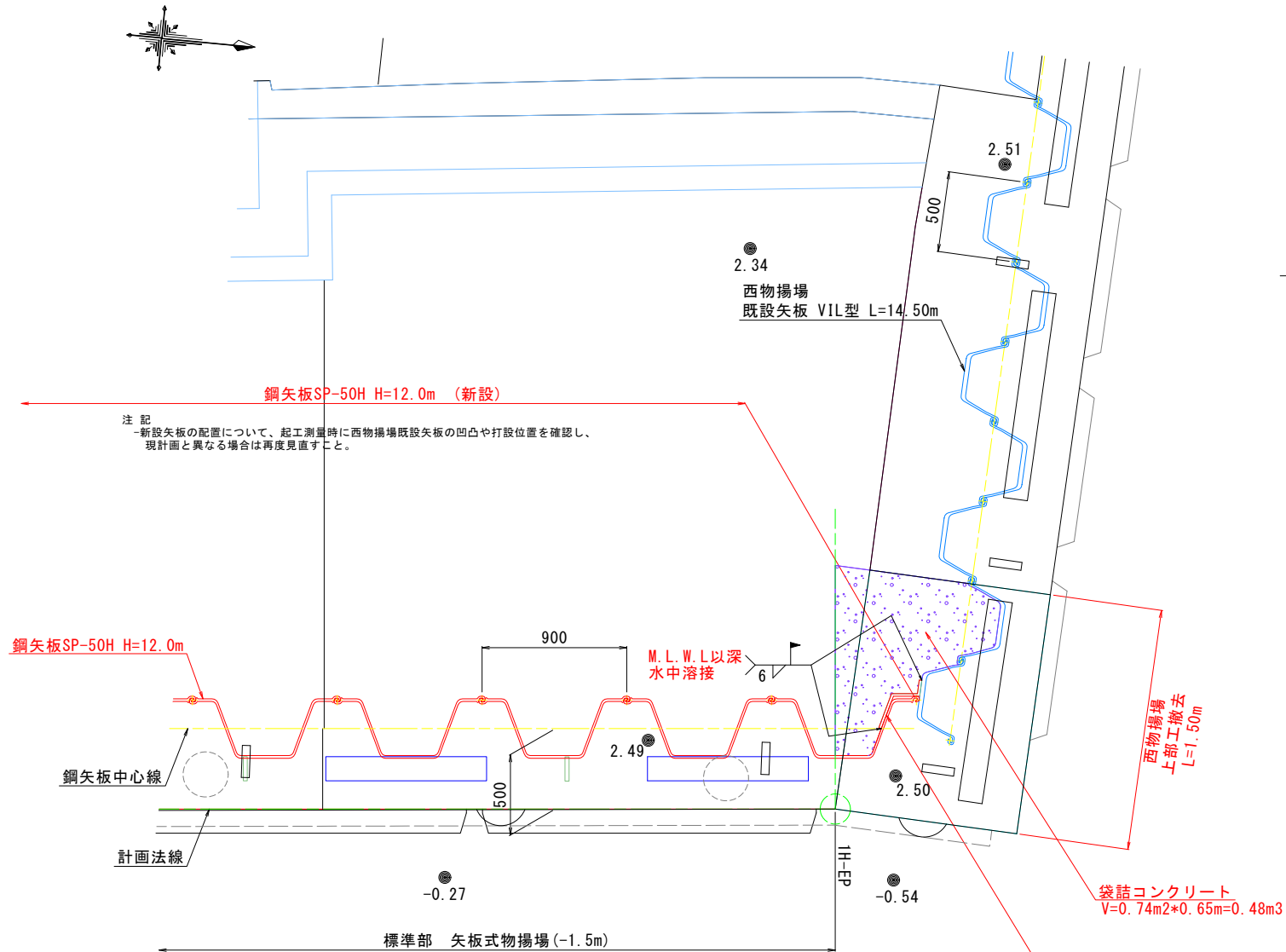
平面図

S=1:20

横断面図

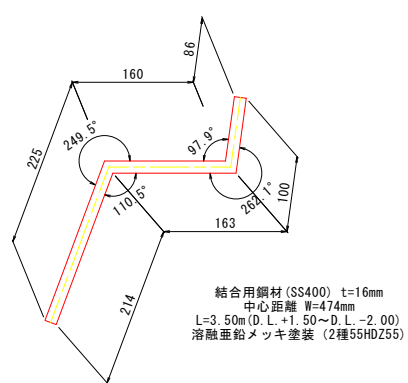
S=1:50

1H-EP(1H-NO. 3+17.950)



鋼材寸法図

S=1:5



注記
-当鋼材は既設上部工取壊し後、既設矢板を確認し再度寸法を確認すること。

溶接部詳細図

S=1:5



注記
-溶接長はM.L.W.L.+0.45mを境界に水上と水中に分ける。
水上: 1.05m
水中: 2.45m

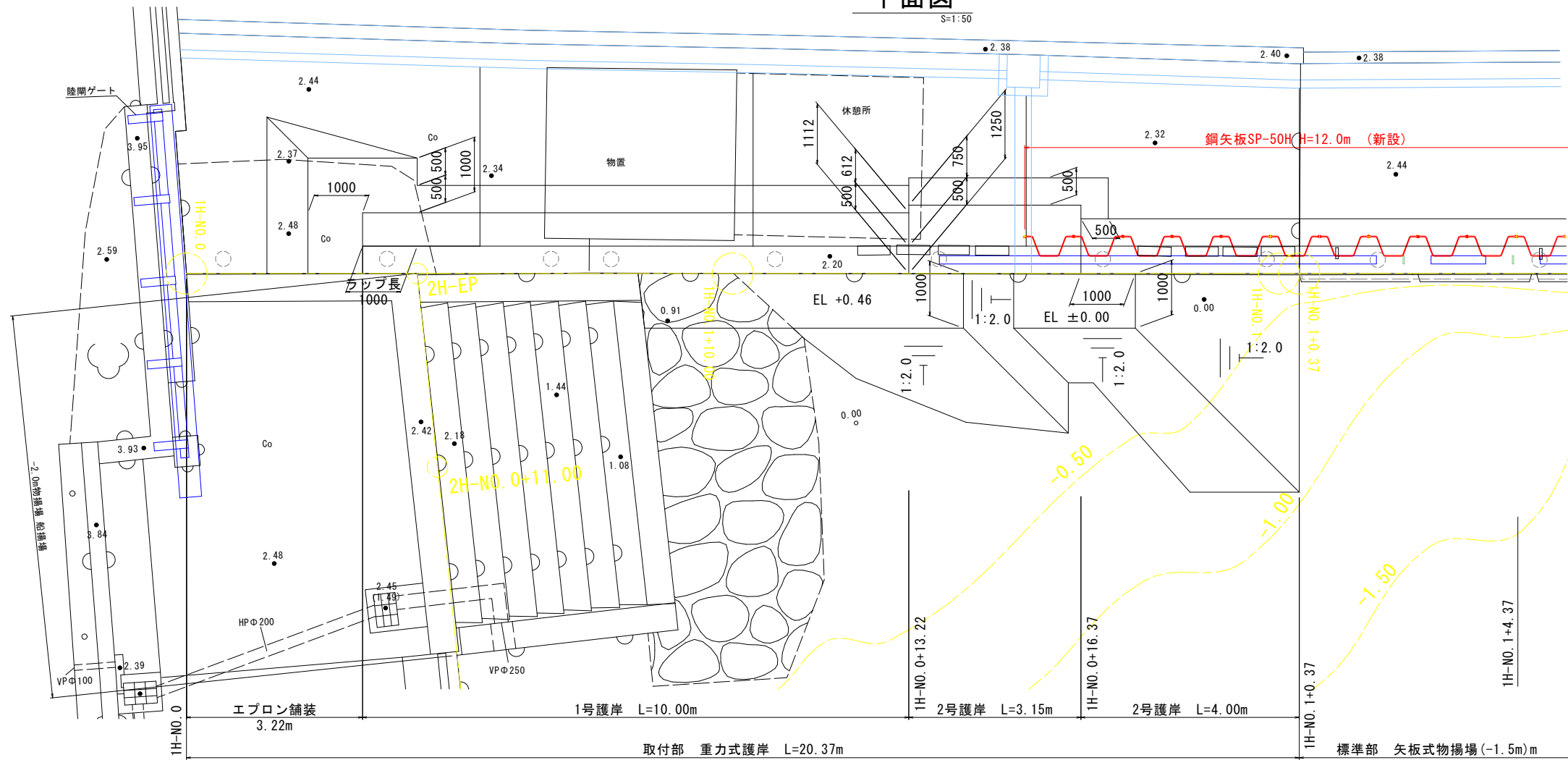
当初設計図面

工事名	R6徳土 徳島小松島港 (津田地区)
路線名等	徳・津田木 物揚場修繕工事 (担い手確保型)
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先
図面名	鋼矢板端部詳細図(終点側)
縮尺	図示 図面番号 9 / 13
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>

取付部護岸詳細図

平面図

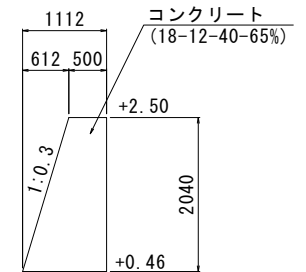
S=1:50



構造図

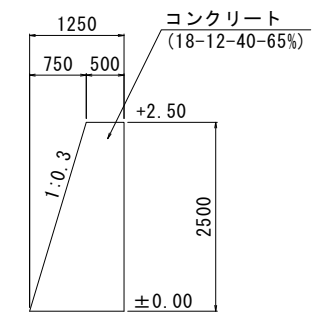
S=1:50

1号護岸

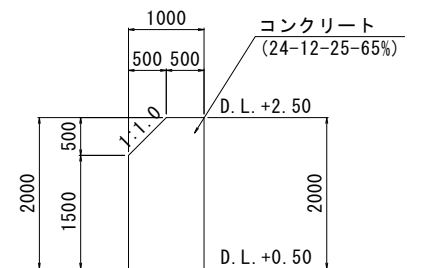


注記
-1号護岸敷高は、船揚場敷高に合わせること。

2号護岸



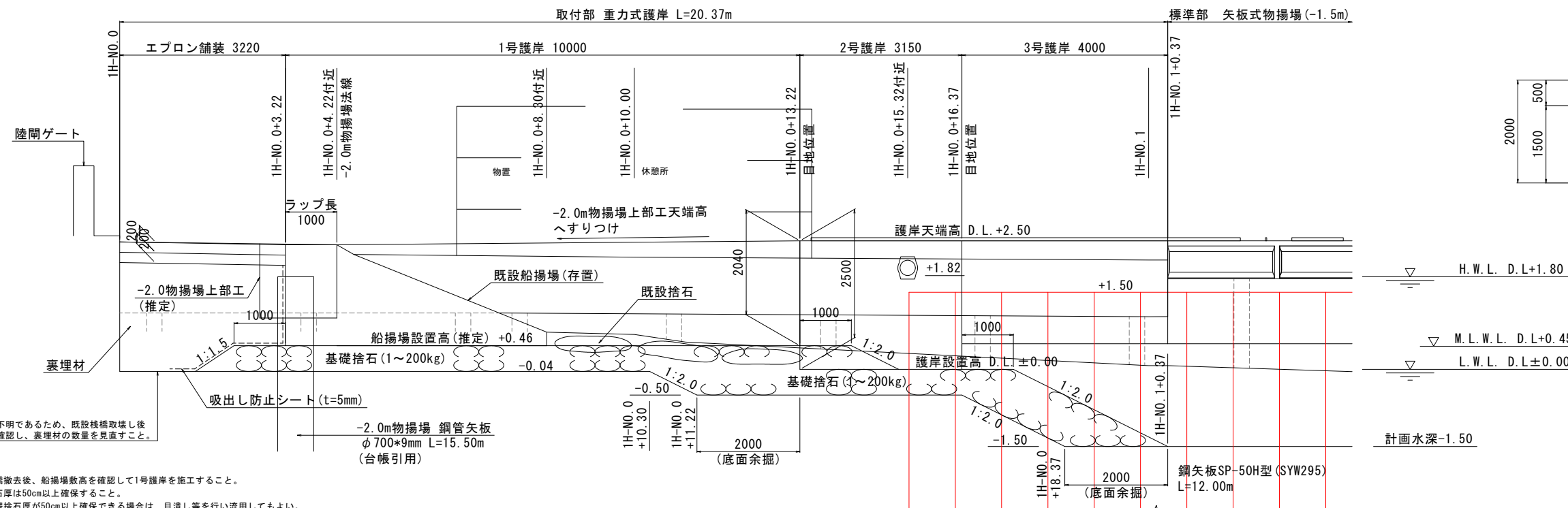
3号護岸



注記
-3号護岸の構造は、物揚場矢板上部工と同様にする。

展開図

S=1:50



注記
-現地盤が不明であるため、既設構造物取壊し後現地盤を確認し、裏埋材の数量を見直すこと。

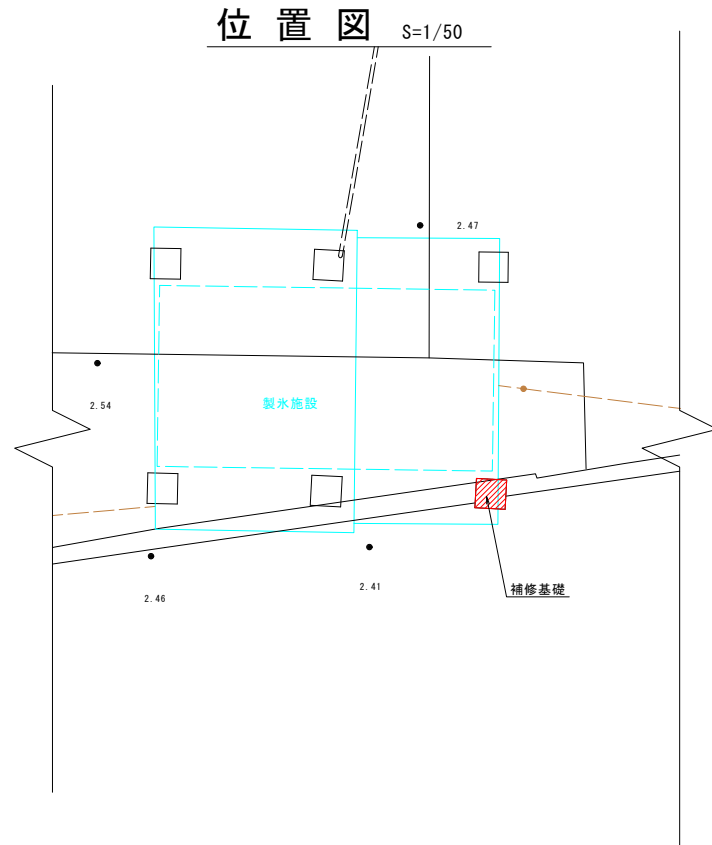
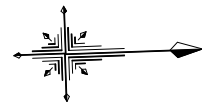
注記
-既設構造物撤去後、船揚場敷高を確認して1号護岸を施工すること。
-基礎捨石厚は50cm以上確保すること。
-既設基礎捨石厚が50cm以上確保できる場合は、目潰し等を行い流用してもよい。

当初設計図面

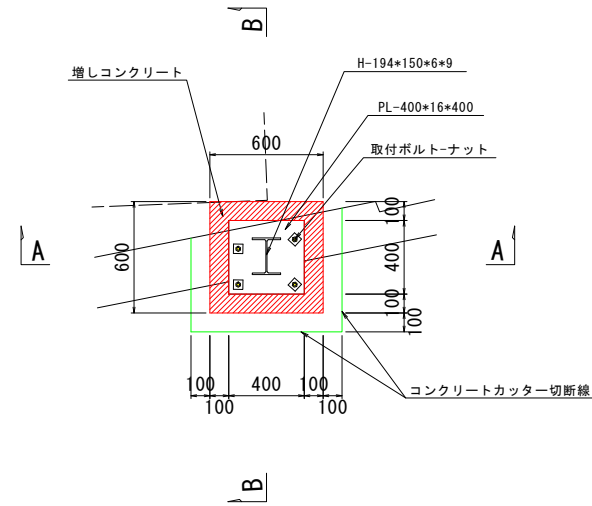
工事名	R6徳士 徳島小松島港 (津田地区)
路線名等	徳島小松島港 (津田地区)
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先
図面名	取付部護岸詳細図
縮尺	S=1:50 図面番号 10 / 13
会社名	
事業者名	徳島県東部果土整備局<徳島>

製氷施設基礎補修詳細図

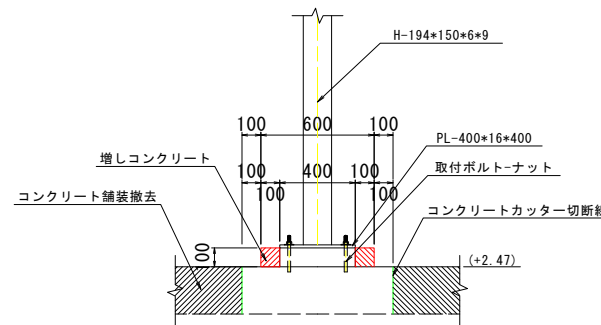
S=1/20



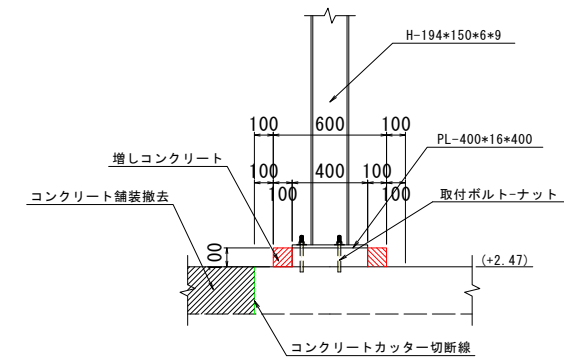
平面図



A-A 断面



B-B 断面

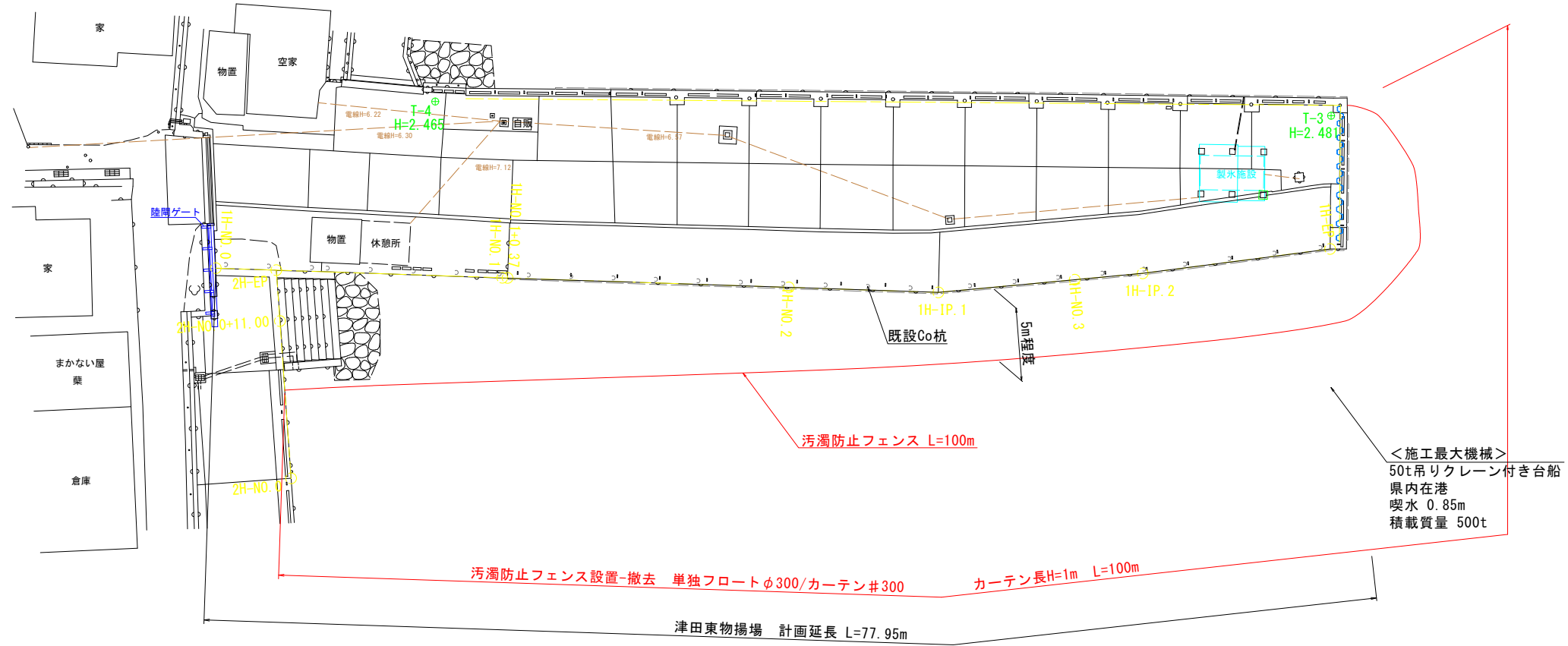
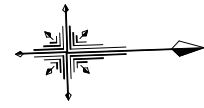


注1) 製氷施設基礎のうち1箇所はコンクリート舗装撤去部にかかるため、現況基礎に影響しない範囲でコンクリート舗装を撤去する。
 注2) 現況基礎はクラックが貫通しているため、基礎の全周にt=10cmの増しコンクリートを打設し補強する。

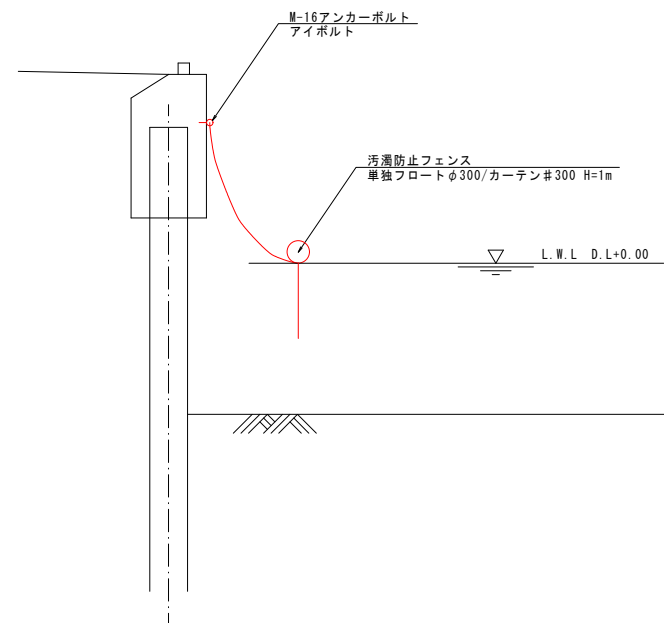
当初設計図面

工事名	R6徳土 徳島小松島港 (津田地区)
路線名等	徳島小松島港 (津田地区)
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先
図面名	製氷施設基礎補修詳細図
縮尺	図示 図面番号 11 / 13
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉

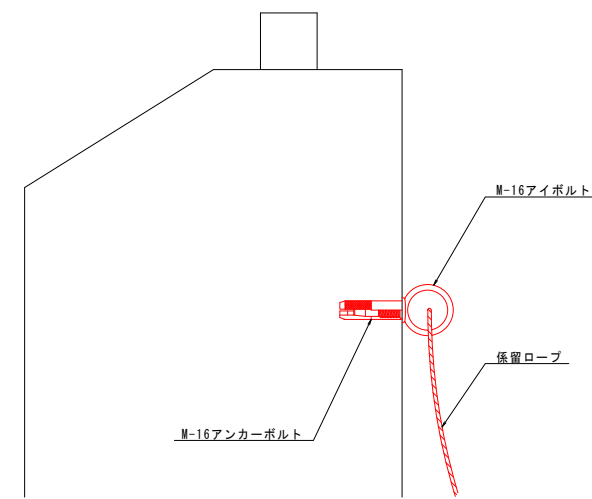
汚濁防止フェンス計画図



汚濁防止フェンス係留詳細図
S=1:50



汚濁防止フェンス取付部詳細図
S=1:10



※ 汚濁防止フェンスのカーテン長は、汚濁防止膜の技術基準より干潮時水深の1/2~4/5程度とする。
∴LWL時水深1.5*1/2~4/5より中央値のL=0.98m→1.0mにて計画する。

当初設計図面

工事名	R6徳土 徳島小松島港 (津田地区)
路線名等	徳・津田本 物揚場修繕工事 (担い手確保型)
工事箇所	徳島市津田本町1丁目地先
図面名	汚濁防止フェンス計画図
縮尺	図示 図面番号 13 / 13
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉